

ジョジョの奇妙な海賊王

空タロウ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

ドグオオン

「ロードローラーだッ」

なんだとオオ

「うぐう」

こいつはやべえ この野郎頭プツンしてやがるぜ…

スタープラチナでも受け切れるかどうか

「オラオラオラオラオラオラオラアア」

「無駄無駄無駄無駄無駄無駄アア」

「グハア」

やばい 意識が…飛んじまうぜ…

叩!ファイ「むにむにや」

誰だああああッ

!?!?!?!?!?

目次

第1話

ドグオオン

「ロードローラーだッ」

なんだとオオ

「うぐう」

こいつはやべえ この野郎頭プツンしてやがるぜ…

スタープラチナでも受け切れるかどうか

「オラオラオラオラオラオラオラアア」

「無駄無駄無駄無駄無駄無駄無駄アア」

「グハア」

やばい 意識が…飛んじまうぜ…

……………ここは

狭い 身動きがとれん まさか囚われたか!! いや、あのD I Oに限ってそんなことはしないだろう

??? 「うがあ! 誰だお前!」 ドンッ

なんだこの日曜日の午前9時頃フジテレビでよく聞く効果音はいやそれよりもこの狭い空間にどうやって入った

??? 「もーせつかく一人で樽ん中入ってたのにさあ」

「まあいいやねるか」

?????? 何故そうなるツツ いやその前に樽だとオオ フザケてるのかああアア

「お前はいつたい何者ダッ」

??? 「なんだよせつかく眠くなってきたのに 俺の名前はルフィ 海賊王になる男だ」

海賊王ツツ? あの家で少女並みの厨二病か???

「海賊王…だと…?」

ルフィ「ああそうだ」

やはりか。危険そうな男にも見えんな… とりあえず名乗ってお

くことに危険はなさそうだな

「俺は空条承太郎だ 今俺たちはどこにいる？DIOの奴は？」

ルフィ「ジヨウタロウか よろしくな！ DIO？誰だそれ 飼い犬か？」

ツツツツ!? あのDIOを飼い犬呼ばわりだとオ…こいつ…只者じゃあないな

「やはりか…ここはどこだ？何故この空間はこんなに狭い？そして何故おまえはペしゃんこになっても生きていられる？」

ルフィ「嫌だつて俺たち樽ん中で漂流してんだろ？俺はゴムゴムの実を食っちゃったから泳げないしなあ…まあ最初の航海だったからいいか別に…航海士が必要だな…つてかお前いつ入ってきた!」ビクウ

樽ウ？漂流!?! いったいどうなつてんだ!? それに反応遅すぎだろおまえ…

ルフィ「オンリヨウだあああ」ぎやあぎやあ

…：やれやれだぜ

コビー「あんなどころに樽が！」

三下「コービーいいい！ 早く引き寄せろよあんなもの 早くしないとアルビダ様二見つかつちまうだろ』

コビー「はっ はい」

！「おいルフィとやら 何者かに見つかった。静かにしておけよ」ルフィ「おうっ」

！陸に引き上げられたか…しばらく様子を見るしかないな…

ルフィ「ウガアア」バキッ

「ぐふお てめええ 静かにしてろと言っただろ」

三下「誰ダツてめーらあああ」

ルフィ「ゴムゴムのピストル」

三下「グフォオオ」

「いきなり攻撃かよツツ」

それにしても…こいつ…なかなかの動きだな だがツツ スター
プラチナのスピードは世界一イイイイイイイイイ

……

ルフィ「白けッ」ドン
…や、やれやれだぜッ